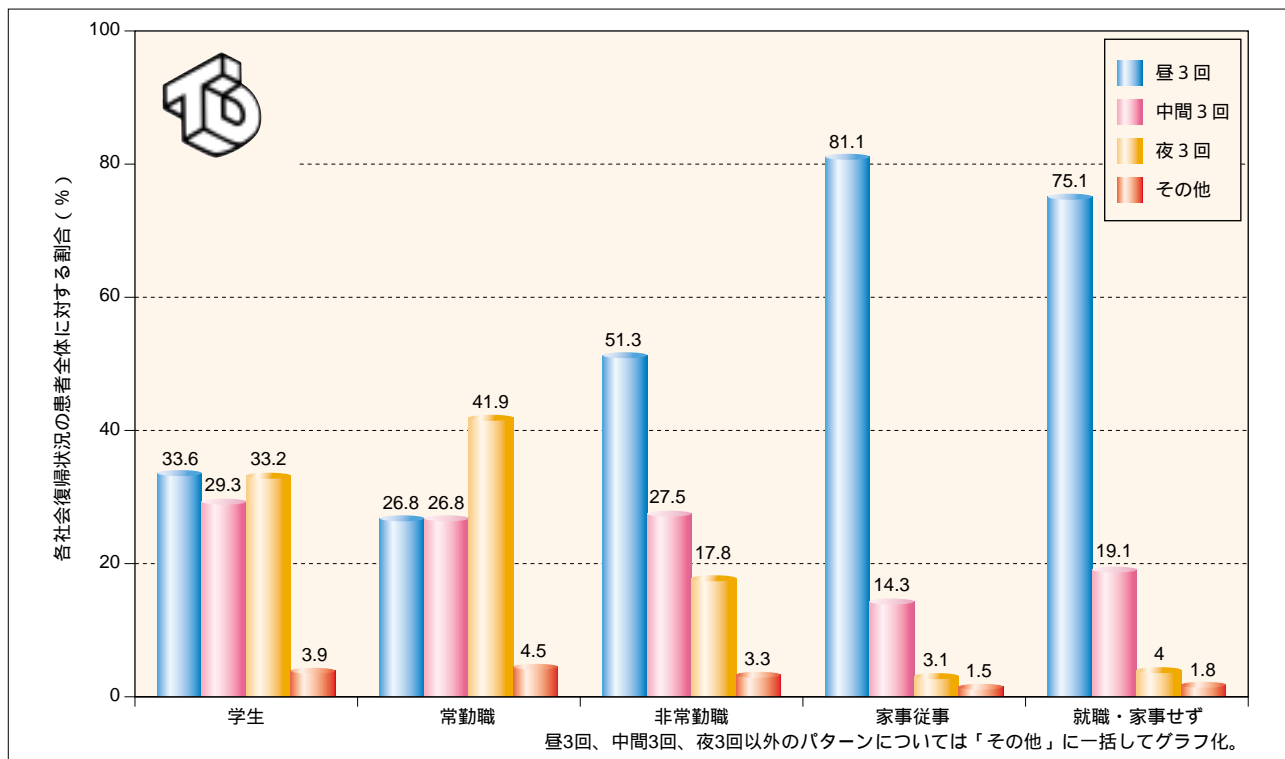


3) 透析パターン

(5) 施設透析患者の透析パターンと社会復帰状況 (図表31)



解説

社会復帰状況

施設血液透析患者について透析パターンと社会復帰状況について集計した結果を示します。

「常勤職」に従事している患者で夜透析を受けている割合が最も高く、次いで「学生」、「非常勤職」の順に夜透析の割合が高くなっています。逆に「家事従事」、「就労・家事せず」と回答された患者では夜透析を実施されていた患者はほとんどごく少数にとどまっていました。

昼透析は逆に「常勤職」「学生」などで実施されている割合が低く、逆に「家事従事」と回答された患者で昼透析の割合は最も高く、次いで「就労・家事せず」と回答された患者で割合が高くなっていました。

中間透析に関しては、どちらかというと言間透析に近い傾向を示しました。すなわち、「学生」や「常勤職」、「非常勤職」で実施率が高く、「家事従事」「就労・家事せず」において比較的实施率が低くなっていました。